

## めざす子ども像 自信を持ち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

**取組目標**・奈良の文化や伝統などのよさを知り、地域に誇りをもつ子どもを育てる。

- ・学習意欲や科学的な思考を育て、自ら考え、正しい判断ができる子どもを育てる。
- ・どのような環境でも挫けない強い意志と体力、豊かな心をもった子どもを育てる。
- ・親子、家族で楽しめるイベントを行い、ともに感動を分かち合える機会をつくる。
- ・幼児児童生徒が地域で協力し、小さな地域単位でボランティア活動などを行い、よりよい人間関係づくりを進める。

### 今年度の取組紹介

・【歴史ウォーク】11月3日（祝）に、「佐保台から転害門」を歩きました。なら・観光ボランティアガイドの会の方々のガイドにより、歴史のエピソードを聞きながら楽しくウォーキングをしました。今回は五劫院に立ち寄り住職から話を聞いたり、北山十八間戸などの歴史的施設を訪ねたりしました。また、植村牧場で新鮮な牛乳を使ったソフトクリームなどをいただき楽しいイベントとなりました。

参加者は約90人にのぼり、郷土への愛着が育まれました。

・【平城高校生と遊ぼう！】1月21日（日）に北部会館で実施しました。平城高校をはじめ、中学校・幼稚園・こども園・3小学校の発表もあり、イベントは大いに盛り上がりました。

幼児から高齢者まで500人以上（子ども170人）の参加がありました。地域の交流もでき、子から子へ残していきたい地域のイベントになってきました。



### 今年度のまとめ

【歴史ウォーク】90人の参加がありました。当日は佐保台自主防災防犯協議会の協力を得て、安全面にも配慮し秋空の下、奈良の歴史や、すばらしさを実感するという結果になりました。

【平城高校生と遊ぼう！】小学生・中学生の発表があり、参加者は500人を数えました。幼児から高齢者まで楽しめるもので、今年は、ステージ発表も内容を工夫し、お茶会も整理券制にすることでスムーズに運営することができました。



### 来年度に向けて

来年度も同様の事業を予定していますが、【歴史ウォーク】や【平城高校生と遊ぼう！】などのイベントは参加人数も伸び悩んでいることなどから、初めての方でも参加しやすい魅力ある取り組みを目指していくなど、10年先を見通した工夫が求められます。また、地域と学校をつなぐためにも、新しい地域ボランティアの方々の発掘は急務であると考えます。

めざす子ども像

## 自信を持ち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成

取組目標

伝統芸能・キャリア教育・平和教育・ボランティア活動など地域社会やたくさんの方々から直接学ぶことは多く、教室と地域をつなぐ活動を行うことによって、「教室から社会へ」踏み出せる力を身に付けさせたい。また、地域の環境整備や防火防災のための生徒のボランティアを活発化させ、社会に役立つ経験をもたせる。そのような経験から、自己肯定感や自尊感情育成を図る。

### 今年度の取組紹介

【地域に開かれた文化発表会】学校の取組を地域に発信する機会としました。1年は学級合唱、2年は学級合唱と学年合唱、3年は沖縄を舞台とした学年劇を発表しました。また、吹奏楽部演奏を舞台で日頃の成果の発表を行いました。各教室では科学部の実験や文芸部の作品展示や学年・教科の展示発表を行いました。

【本物に学ぶ 講師招聘事業】1年生は、福祉講演会・性教育講演会。2年生はマナー講習会・平和学習講演会。3年生で尺八の演奏鑑賞及び体験を講師の方を招いての講演会を開催し本物に触れることができ、貴重な体験ができました。

【クリーン大作戦】本校生徒の有志100人以上が参加して校区内のゴミ集め・清掃活動を行いました。



### 今年度のまとめ

【地域と歩む文化発表会】例年以上の保護者・地域の方の見学者が来られ、高い評価を受け、生徒一人一人の自己肯定感がめばえてきました。

【本物に学ぶ 講師招聘事業】社会で活躍されている方々の体験談を聞くことで、今まで経験したことのないものを得られました。『本物』に触れることの重要性を感じ成果が上げられました。

【クリーン大作戦・防災活動】地域の活動に参加することによって、地域の一員としての自覚やふれあいを感じることができました。積極的に参加するという点では不十分ですが、第一歩としての活動となり次年度以降につながると考えられます。

### 来年度に向けて

今年度の事業を発展させていく必要があります。特に地域の行事や一員としての自覚を持ち、地域に根ざした学校を目指し、地域とともに育てる生徒の育成が課題となると考えられます。

めざす子ども像

**自信を持ち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成**

取組目標

「人」「物」「地域」との様々な出会いや体験を通して、感性豊かな心を育てる。

## 今年度の取組紹介

- 年間を通じて、地域のボランティアの皆さんの力を借りて、安全で美しい校庭を保つための取組をおこなってきました。草刈りや剪定作業を継続的に行い、本校用務員やPTAとの協力も相まって、かなり取組を進めることができました。
- 年間を通じて、図書ボランティアのみなさんによる図書室の整備や読み聞かせ活動に、今年度は北部図書館の司書も関わってくださり、これまで低学年中心だった「お話の会」を高学年に広げ、読書に親しむ活動を進めることができます。
- 5・6年生の児童の学習では、年2回近畿大学の准教授と学生にゲストティーチャーとして関わっていただき、ビオトープに棲息する生物（ニッポンバラタナゴ、ヨシノボリ ドブガイ）に興味をもつと共に、四季折々の変化にも関心をもって、環境問題について学ぶことができます。



## 今年度のまとめ

- 地域の方々と協働して教育活動や学習環境の整備を行うことによって、安全・安心な学校づくりが進み、積極的に戸外で遊ぶ児童が増えてきています。
- ビオトープをはじめ、学校の学習環境の整備と共に、大学と連携した学習活動に取り組むことによって、児童がこれまで以上にビオトープの生物や環境に興味を示すようになってきています。
- 図書ボランティアのみなさんや北部図書館の司書の方による図書室の整備が進められていることと共に、低学年を中心に読み聞かせ活動に取り組み、読書に親しむ態度をもとうとする児童が増えてきています。

## 来年度に向けて

- ビオトープを中心とする活動や「おもしろ理科実験」については、ボランティアのみなさんとの打ち合わせを密にして、さらに教科領域との関連性を高めていきたい。
- 地域の方々をゲストティーチャーとして計画的に招くことによって、児童がより体験的に興味をもって学ぶことができる学習の在り方を追求していきたい。

めざす子ども像

**自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成**

取組目標

**様々な感動体験を通して、児童一人一人に豊かな心や自己肯定感・自尊感情をはぐくみ社会の変化に進んで対応できる能力の育成**

## 今年度の取組紹介

今年度も環境美化活動事業、地域に学ぶ体験学習事業、読書活動推進事業、ICT学習事業、人権・福祉学習事業等の取組を地域の方やゲストティーチャーの方の支援をいただきながら進めました。環境美化活動事業では、環境委員会が中心となり、花や野菜の栽培活動に取り組みました。花の苗植や草刈り、草引きなどの作業に汗を流し、稲やイモの栽培で収穫の喜びも体験することができました。また、地域に学ぶ体験学習事業の一つとしてJR平城山電車区に協力いただき電車区内の美化運動に協力し、2年生が花の苗植えを行いました。ICT学習事業では、電子自治体アドバイザークラブの方々の協力で、全学年でICTを活用した学習を進めました。読書活動推進事業では、ブックフェアを行うとともに、地域の図書ボランティアの方や北部図書館の司書さんの協力を得て図書室の環境作りを進めました。また、講師を招き、手話を通してのコミュニケーションや命の大切さを学び、相手を思いやる心やユニバーサルデザインについての考えを深めることができました。体力作り事業では朝のマラソン、長縄跳び、ボールを使った活動を行ってきました。



## 今年度のまとめ

学校・家庭・地域が一体となって子どもの教育にあたりとともに、子どもたちの体験活動を通して多くの事を学びました。さらに地域のふれあいを支援し、地域の人材を活用し連携を深めました。この取組により、自分たちが住む地域に目を向け、自分たちの郷土を愛する子どもたちが育ったものと思われま。様々な学習を通してまた、ふれあい学習や体験学習での人との関わりや命の大切さを学びました。

## 来年度に向けて

多くの「人・もの・こと」が生活の中に関わっている大切なことであり、これからも「地域で育っている心豊かな佐保台っ子」を意識させることができる貴重な学習や体験を継続的に進めていくことでさらに大きな効果が表れてくるものと考えます。来年度も活動を持続しさらに内容を工夫しながら、発展させていきたいです。

めざす子ども像

**自信を持ち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成**

取組目標

**地域との繋がりを意識し、豊かな感性と知識・技術を身につける**

## 今年度の取組紹介

&lt;名人さん大会&gt;

平成29年6月15日（木）実施

毎年、地域の中で趣味や特技を待った方や団体の方々を講師として学校に招いて、様々な体験学習教室を開いています。

今年度は、2年生児童を対象に‘囲碁教室’‘手芸教室’‘ハンドベル教室’‘紙ルービック教室’の4教室を開設しました。

講師として来ていただいている皆さんは、子どもたちとのふれあいを楽しみにされ、教えることに大きな喜びを感じておられます。子どもたちも同様に、新しい出会いの新鮮さと、普段の学習では体験できないことに対して、大きな好奇心を持って楽しく取り組んでいます。

地域の方々と子どもたちの双方が有意義に過ごせるこの取組は、地域の絆を強める取組として今後も継続したい。



## 今年度のまとめ

- ・学校での授業を拡充できる活動や、教職員だけでは取り組めない内容の活動を、地域の方を学校に招いて、また地域へ出て行って実施することができました。
- ・子どもたちと地域の方々の双方が楽しみながら活動することができました。
- ・地域の大人の方々と接することによって、子どもたちのコミュニケーション能力、規範意識、防犯意識が高まりました。
- ・コーディネーターや運営委員をはじめ、多くの保護者、地域のボランティア、社会福祉協議会、民生児童委員会等、様々な方々や団体の協力を得ることができました。

## 来年度に向けて

来年度も、基本的に今年度の事業の継続と充実を目指して取り組んでいきたいです。加えて、新しい事業や取組の企画について、地域の方々の声を生かしながら進めていきたい。また、事業への参画や協力者が増えるように広報活動や啓発活動を活発に行いたいです。

めざす子ども像

**自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成**

取組目標

**地域とのつながりを意識できる学習環境整備に取り組みながら、子どもたちが地域とのつながりを実感できる取り組みの充実。**

## 今年度の取組紹介

## 【朱雀おはなしの会】

朱雀お話の会の皆さんからの絵本や素話、パネルシアターを視聴したり、手遊びを楽しんだりしました。事前に貼り出すプログラムを親子で見て「知ってるお話や」「楽しみ」と毎月心待ちにしています。毎回工夫された内容で、園児もドキドキワクワクお話の世界へ引き込まれ終わった後は「ありがとう」「次も来てね」と親しみや感謝の気持ちを伝える様子も見られました。毎月積み重ねることで、園児の豊かな気持ちが地域の方の力で育まれています。



## 【体操教室】

日本フィットネス協会公認インストラクターの方をゲストティーチャーに招き体操をしたり、歌や音楽に合わせて踊ったり、ゲームで楽しみながら友達と身体を伸ばしたりしました。11月には親子体操教室を行い、親子で身体を動かす楽しさや気持ちよさを共感し、親子のコミュニケーションづくりの一環にもなりました。また、日頃の遊びに取り入れるなどの工夫をすることで、身体を積極的に動かして活動する姿が多くみられるようになりました。

## 今年度のまとめ

- ・地域の方々の協力と支援を得て様々な分野の活動を積み重ねることで、いろいろなことにやってみようとする気持ちがもてるようになりました。
- ・活動を積み重ねることで、園児が受け身でなく地域の方々へ親しみや感謝の気持ちをもつとともに、自分たちもやった・できたという充実感を得られることができました。また、保護者も一緒に行うことで、事業への理解や地域の方々とコミュニケーションを深めることにもつながりました。

## 来年度に向けて

来年度も、更に広い視点で地域力を活かし、地域・保護者との連携を更に深め、自信をもち何事にも挑戦する園児を目指して取り組んでいきたいと思えます。また、4月からは朱雀こども園となり、園児数も増えますが、今までの取組を継続してつなげられるように工夫していきたいと考えています。

めざす子ども像

**自信をもち何事にも挑戦する園児・児童・生徒の育成**

取組目標

**わくわく・どきどき心を動かす体験活動を通して、生き生きと生活する心豊かな園児を育てる。**

今年度の取組紹介

## ◆ お話の会

地域の読み聞かせのボランティアの皆さんにより継続して行っている「お話の会」では、毎月実施していることで、毎回期待をもちながらお話を聞き、また、落ち着いて話を聞く態度が身につけてきました。園の絵本コーナーからも絵本を選んで読んでいただき、読んでもらった絵本を展示することで、絵本貸出日にはその絵本を借り、家庭でも楽しむ姿がみられるなど、お話が好きな子に育っていることが感じられました。



## ◆ おもしろ理科実験

地域の『平城NT楽しい理科実験研究会』の方々に来ていただき、今年度も「おもしろ理科実験教室」を実施しました。園庭での“ペットボトルロケット”では、ロケットが飛び、パラシュートが舞う様子が歓声をあげ、見入っていました。また“折り紙すいれん”や“もしもしもしふうせん”を教えていただき、それを持ち帰り、家庭でも楽しみました。子どもたちは、科学の驚きや不思議さを感じ、心揺さぶる貴重な体験となりました。また、お家の方とも共有することができました。

## ◆ 左京の森



今年度も左京グリーンサポートさんのお力をお借りしながらサツマイモの収穫を行いました。土が固く、掘りおこしにくかったですが、一緒にしていただくことで、楽しくサツマイモを掘ることができ、大喜びの子どもたちでした。また、グリーンサポートさんに親しみをもつとともに、いつもお世話して下さることに感謝の気持ちをもつことができました。

今年度のまとめ

- 計画的に継続して地域の方とかかわる機会をもつことで、地域の方への親しみが増し、毎回期待しながら参加し、次回を楽しみにする姿へとつながっています。
- 地域の方との心を動かす様々な経験により、その温かい雰囲気や眼差し、言葉がけなどの優しさにより、人とかかわる心地良さや感謝の気持ちを感じる事ができました。また、園生活での生き生きと活動する姿へとつながっています。

来年度に向けて

- 継続して地域の方とかかわることで、幼児の経験や体験を広げることができ、親しみも深まるので、今年度も計画的に継続的に事業を進めるようにしていきたいです。
- 地域の教育力を十分活かせるように、情報収集をし、保育内容に取り入れ、子どもたちの豊かな経験につなげ、地域に根ざした園をめざしていきたいと思っております。